

題目 H形鋼のコンクリート引き抜き試験と考察

八千代エンジニアリング（株）東京事業部 水工部 正会員 ○ 橋村 潔
坪井 隆一

1. はじめに

既設ダムに取水設備を新設する場合、既設堤体と一体となるような構造としなければならない。Fダムにおいては、工事期間中に貯水池水位を空にすることができないことから、新設する取水設備基礎を直接基礎とできず、基礎形式について種々検討した結果、既設堤体に張り出し基礎を設けた構造とした。この張り出し構造は既設堤体に穴を開けてH形鋼を挿入してコンクリートを巻立てる方式とした。このため、既設堤体と挿入したH形鋼との設計付着強度を確認するために現地でH形鋼の引き抜き試験を実施し、その結果について報告する。

2. コンクリート試験及び鋼材引き抜き試験

(1) 試験項目

既設ダムの物性値を調査するために堤体上流面及び下流面からボーリングコア（φ20cm，長さ70cm）を採取し、コンクリート試験（物理，力学試験）を実施した。一方、鋼材引き抜き試験は、下流面のボーリングコア採取孔を利用して現地で実施した。

(2) 取水設備設置計画図

Fダムはアーチ式ダムで新設する取水設備配置図は図-1に示すとおりである。

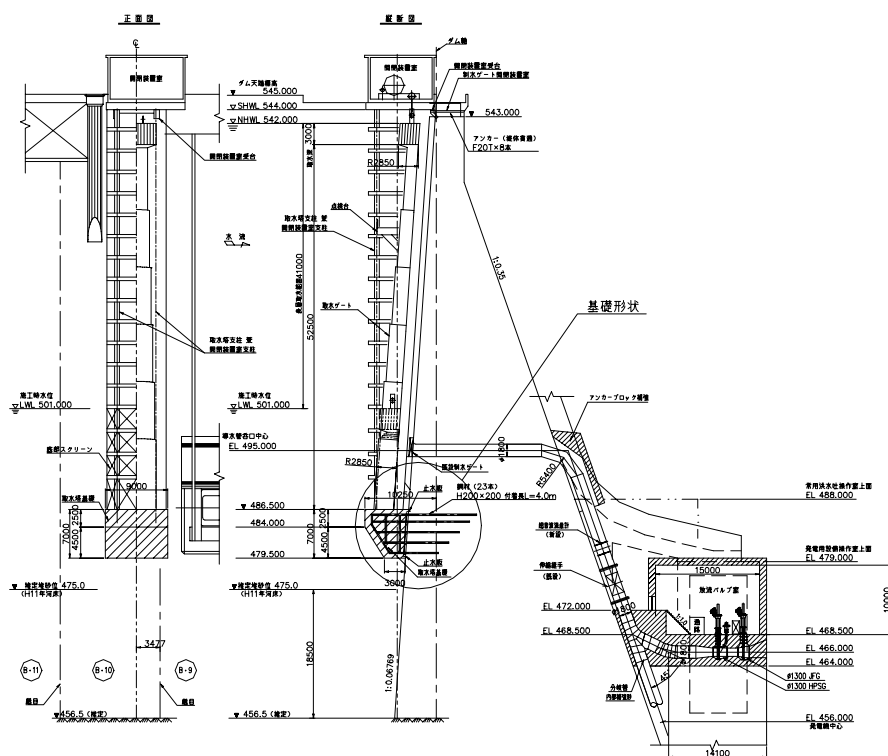


図 - 1 新設取水設備配置構造

ダム，取水設備，試験，H形鋼

東京都目黒区中目黒1-10-23 TEL 03-3715-9872 FAX 03-3715-2055

